

三菱電機

設備用パッケージエアコン別売部品 オイルフィルタユニット（再生型）

形名

PAC-CH23UTB

PAC-CH24UTB

PAC-CH25UTB

PAC-CH26UTB

オイルフィルタユニット（使い捨て型）

形名

PAC-CH33UTB

PAC-CH34UTB

PAC-CH35UTB

PAC-CH36UTB

取付説明書（販売店・工事店様用）

| もくじ | ページ |
|------------------------------|-----|
| 安全のために必ず守ること | 2 |
| 1. 使用部品 | 5 |
| 1-1. 同梱部品 | 5 |
| 1-2. 製品運搬と開梱時のお願い | 5 |
| 2. 使用箇所（取付作業の概要） | 6 |
| 2-1. 使用部品の取付位置 | 6 |
| 3. 取付作業 | 7 |
| 3-1. パネルの取外し | 8 |
| 3-2. リモコンの取外し、カバーの取付け | 8 |
| 3-3. シール材の貼付け | 9 |
| 3-4. 前上パネル、パネル取付板の取付け | 9 |
| 3-5. フィルタレール、 オイルパン受けの取付け | 10 |
| 3-6. オイルパン、オイルフィルタの取付け | 10 |
| 3-7. 前下パネルの取付け | 11 |
| 3-8. 後ろふさぎ板の取付け | 11 |
| 3-9. 注意ラベルの貼付け | 12 |
| 4. 取付作業後の確認 | 13 |
| 4-1. 取付作業のチェックリスト | 13 |
| 5. お客様への説明 | 14 |
| 5-1. 一般事項 | 14 |
| 5-2. お願い事項 | 15 |


この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付作業が必要です。取付作業の前に、この説明書を必ずお読みください。


- ・「取付説明書」は大切に保管してください。
- ・お客様ご自身では、取付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- ・この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(火気禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

警告

電気配線工事は「第一種電気工事士」の資格を保有する者が行うこと。

一般事項

警告

改造はしないこと。

- ◆水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

火気を近づけないこと。

- ◆引火・火災・爆発のおそれあり。



火気禁止

運転中および運転停止直後は、以下の部品に素手で触れないこと。

- ◆ベーパーパン本体・ヒーター本体・スプレー本体・冷媒配管・冷媒回路部品



- ◆低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

接触禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ◆ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

掃除・整備・点検時は、運転を停止して、すべての関連ユニットの主電源を切ること。

- ◆けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



注意

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆ 高温部に触れると、火傷のおそれあり。



部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆ 運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ◆ ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



運搬・取付作業をするときに

注意

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- ◆ けがのおそれあり。



取付作業をするときに

警告

梱包材は廃棄すること。

- ◆ けがのおそれあり。



三菱電機指定の部品を使用し、取り付けは販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 水漏れ・感電・火災のおそれあり。



梱包材は破棄すること。

- ◆ 窒息事故のおそれあり。



販売店または専門業者が取付説明書に従って実施すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・火災のおそれあり。



販売店または専門業者が当社指定の別売品を取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



付属品の装着や取り外しを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒が漏れ、酸素欠乏・発煙・発火のおそれあり。



配管工事をするとき

警告

現地配管が部品端面に触れないこと。

- ◆ 配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れのおそれあり。



電気工事をするとき

警告

配線が冷媒配管・部品端面に触れないこと。

- ◆ 配線が接触した場合、漏電・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



配線に外力や張力が伝わらないようにすること。

- ◆ 伝わった場合、発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。

- ◆ 発熱・断線・発煙・発火・火災のおそれあり。



取付作業をする場合、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。



電気工事は、第一種電気工事士の資格所持者が以下に従って行うこと。

- ◆ 電気設備に関する技術基準
- ◆ 内線規程
- ◆ 取付説明書



- ◆ 施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

移設・修理をするとき

警告

分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店・専門業者に依頼すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

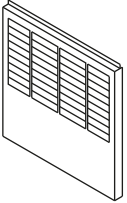
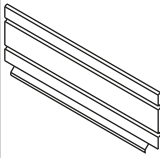
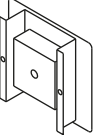
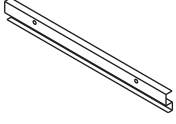


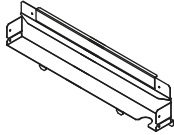
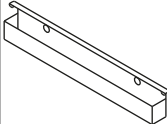
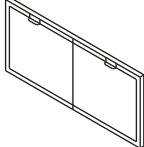
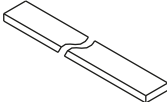

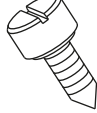

- ◆ 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



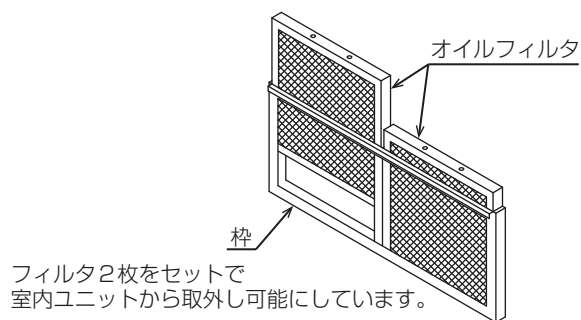
1. 使用部品

1-1. 同梱部品

この箱には下記部品が入っていますので、確認してください。

| | | | | | | | |
|-----|---|--|---|--|---|---|---|
| No. | D-1 | D-2 | D-3 | D-4 | D-5 | D-6 | D-7 |
| 品名 | 前下パネル | 後ろふさぎ板 | カバー | パネル取付板 | フィルタ レール(左) | フィルタ レール(右) | オイルパン受け |
| 形状 |  |  |  |  |  |  |  |
| 個数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| No. | D-8 | D-9 | D-10 | D-11 | | D-12 | D-13 |
| 品名 | オイルパン | オイル フィルタ | シール材 | ねじ | | 化粧ねじ | 注意ラベル |
| 形状 |  | ※1  |  |  | |  |  |
| 個数 | 1 | 1 | 1 | 23, 24, 33, 34UTB形 15個 25, 26, 35, 36UTB形 16個 (各予備3含む) | | 2 | 1 |

※1 PAC-CH23, 24, 25, 26UTBの場合は、枠+フィルタ(2分割)のセットとなっています。(下図)

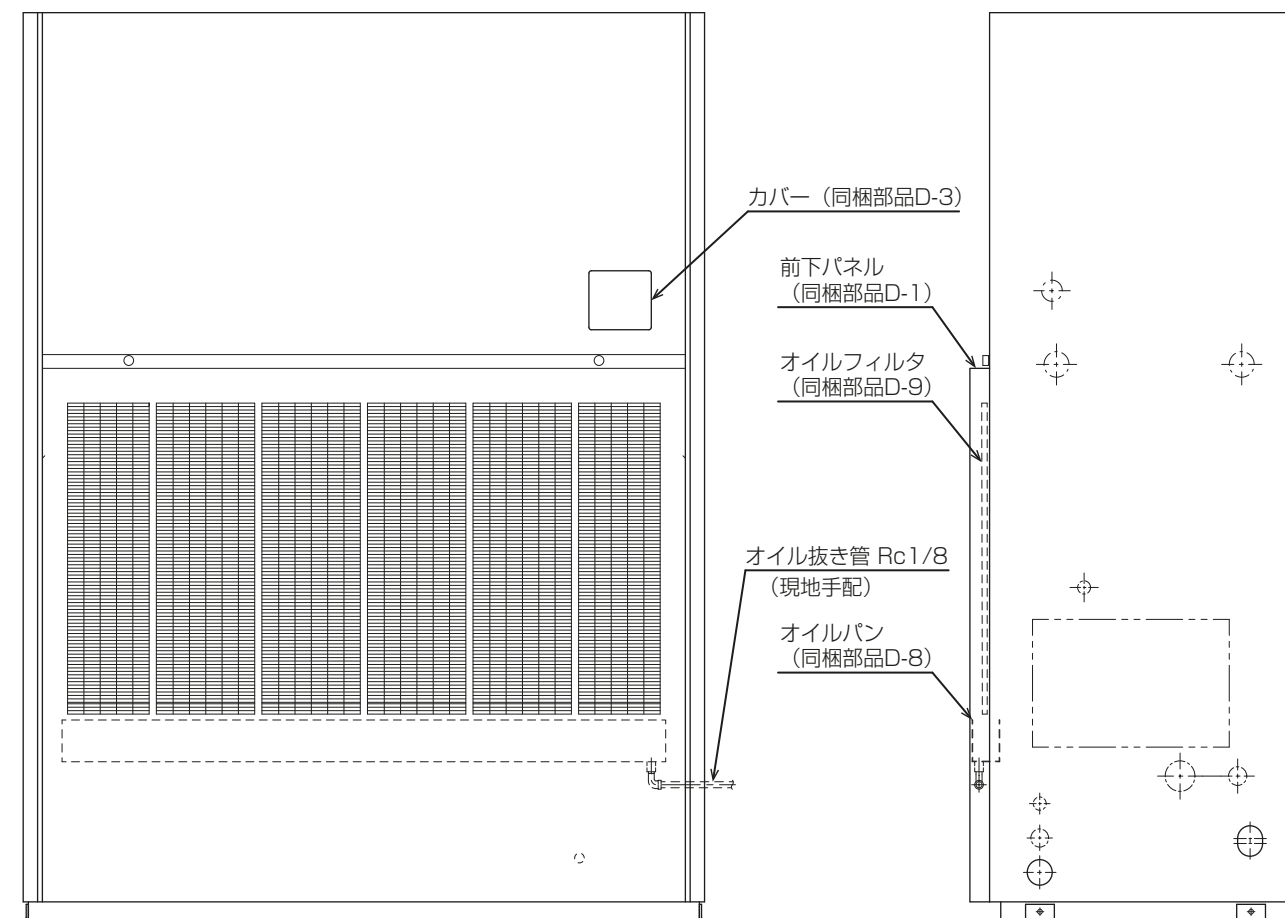


1-2. 製品運搬と開梱時のお願い

同梱部品に不足がないか確認してください。

2. 使用箇所 (取付作業の概要)

2-1. 使用部品の取付位置



3. 取付作業

警告

梱包材は廃棄すること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

販売店または専門業者が当社指定の別
売品を取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、水漏れ・けが・感電・
火災のおそれあり。



指示を
実行

梱包材は破棄すること。

- ◆ 窒息事故のおそれあり。



指示を
実行

付属品の装着や取り外しを行うこと。

- ◆ 不備がある場合、冷媒が漏れ、酸素欠
乏・発煙・発火のおそれあり。



指示を
実行

注意

作業する場合は保護具を身に付けるこ
と。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

お願い

- 取付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。
工具が適切でない場合、機器損傷のおそれがあります。

取付場所に取り付けられる状態になりましたら、取付作業を行ってください。

3-1. パネルの取外し

手順

1. 吸込パネル固定ねじ2本を外してパネルを手前に引いて外す。

お願い

- ・ スtring (引っ掛け紐) も外してください。
 オイルフィルタ用前下パネルにも使用しますので失わないでください。

2. 右図に示すリモコン配線のコネクタを抜く。

お願い

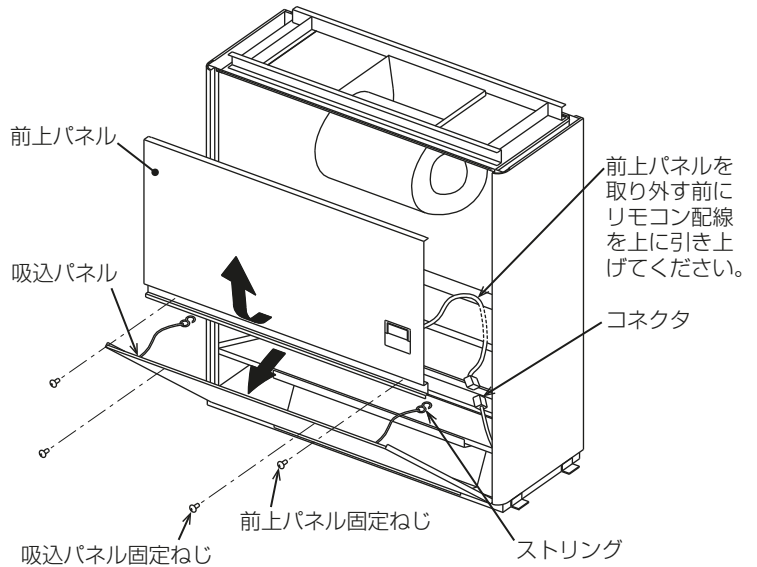
- ・ このコネクタは絶対に抜いてください。抜かずに前上パネルを外すとリモコン配線を破損するおそれがあります。

3. 前上パネル固定ねじ2本を外してパネル下側を手前に開き、リモコン配線(コネクタ)を上を引き出す。

4. 前上パネルを上を持ち上げて取り外す。

お願い

- ・ 外したパネルを地面などに下ろす場合、地面との間に配線やコネクタを挟まないようにしてください。



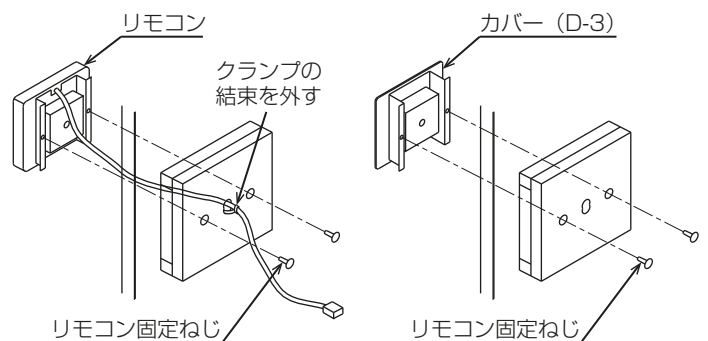
3-2. リモコンの取外し、カバーの取付け

手順

1. 前上パネル後面からリモコン固定ねじを外してリモコンを取り外す。(ねじ2本)
2. カバー (同梱部品 D-3) をリモコン固定ねじで、リモコンが取り付けいていた状態と同じように取り付ける。(ねじ2本)

お願い

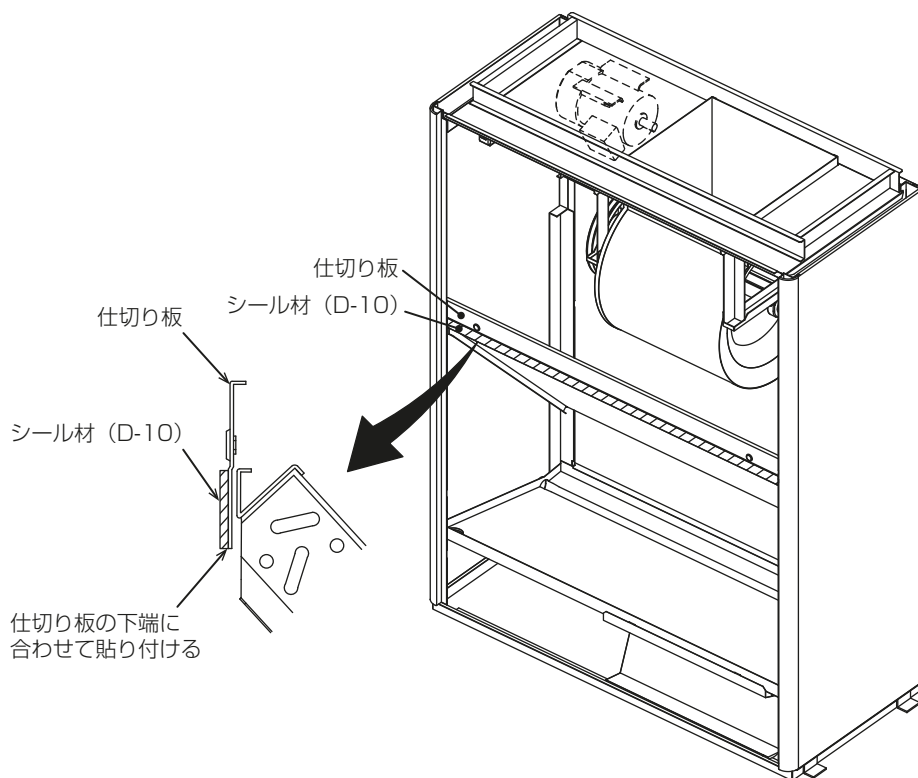
- ・ 油環境下では本体取付けのリモコンを使用することはできません。
 リモコンを本体から取り外し、油分を含まない環境下に設置する必要があります。
 室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書を参照してください。
 リモコンを本体から取り外したあと、お客様と相談のうえ取付場所を決めてください。



3-3. シール材の貼付け

手順

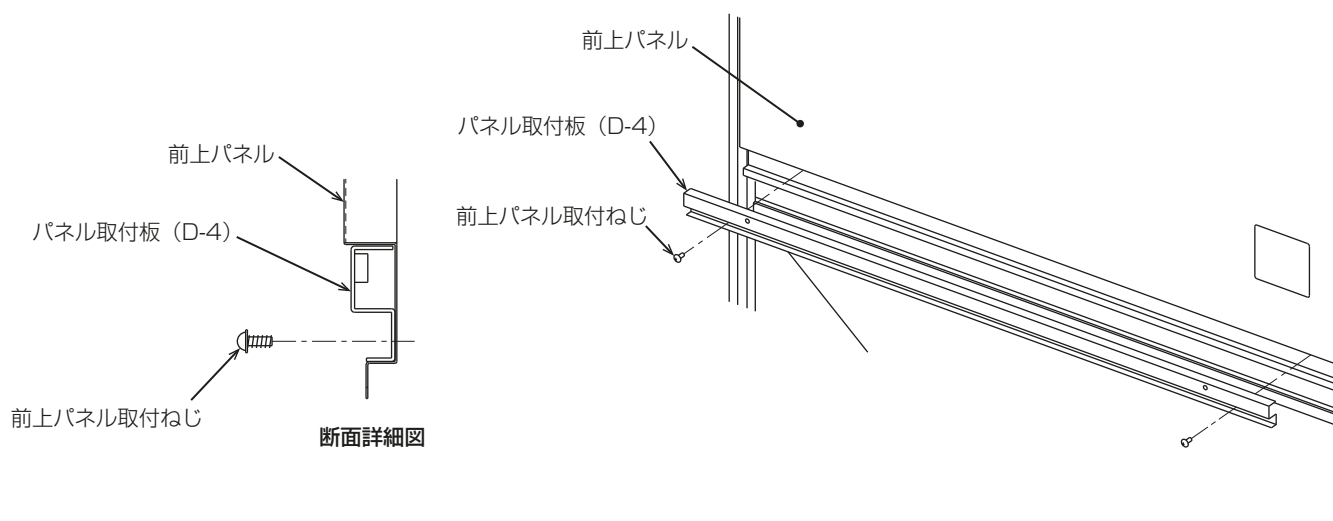
1. シール材 (同梱部品 D-10) を下図のとおり仕切り板に貼り付ける。



3-4. 前上パネル、パネル取付板の取付け

手順

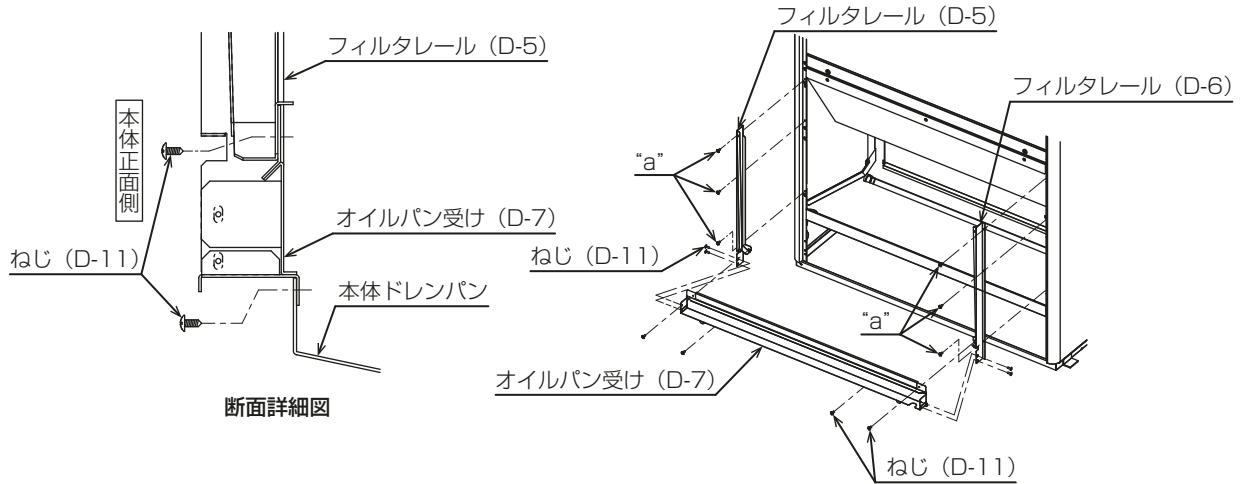
1. 前上パネルを本体上部に元どおり引っ掛ける。
2. パネル取付板 (同梱部品 D-4) を下図のとおり前上パネルに取り付け、共締めする。(ねじ 2本)



3-5. フィルタレール、オイルパン受けの取付け

手順

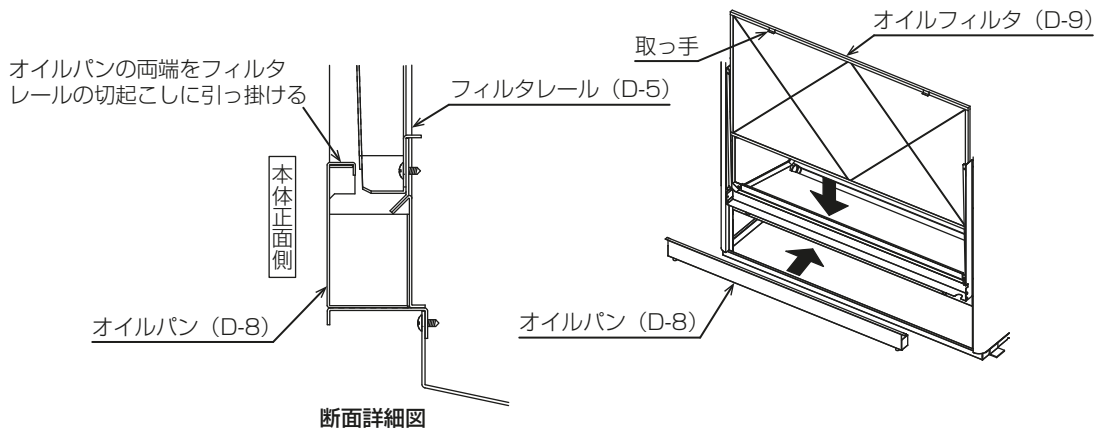
1. フィルタレール (左・右) (D-5、D-6) を下図のとおり取り付ける。(PAC-CH23, 24, 33, 34UTB ねじ各2本、PAC-CH25, 26, 35, 36UTB ねじ各3本)
 - “a” のねじは本体サイドパネルと柱を固定しているねじをいったん外して、フィルタレール (左・右) (D-5、D-6) を共締めしてください。
2. オイルパン受け (D-7) をねじ (D-11) で下図のとおり取り付ける。(ねじ (D-11) 8本)



3-6. オイルパン、オイルフィルタの取付け

手順

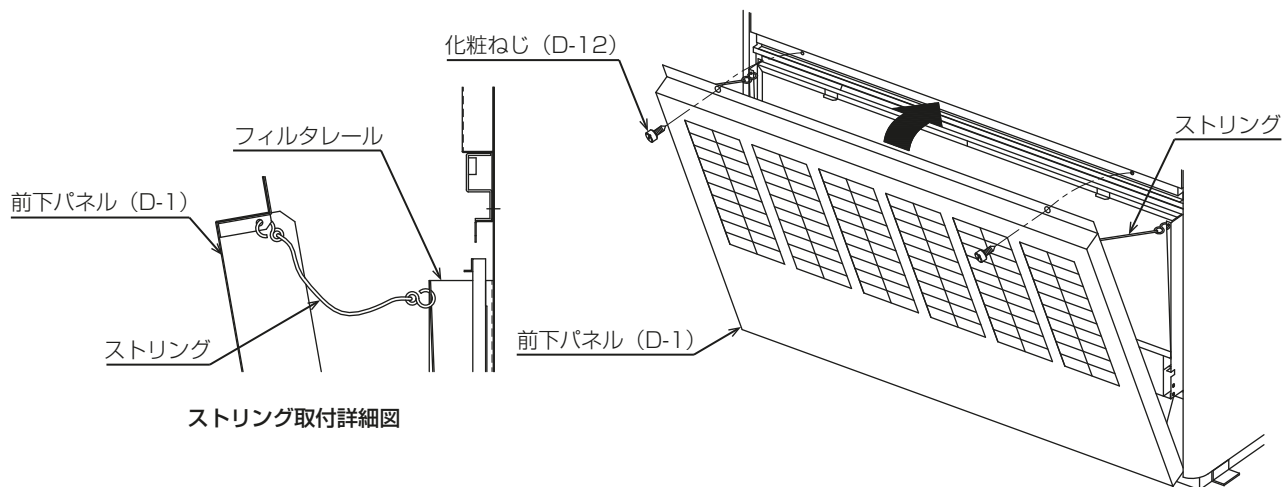
1. オイルパン (D-8) を下図のとおりオイルパン受けの上に取り付ける。
2. オイルフィルタ (D-9) を取っ手が手前上側になるようにフィルタレールに沿って取り付ける。



3-7. 前下パネルの取付け

手順

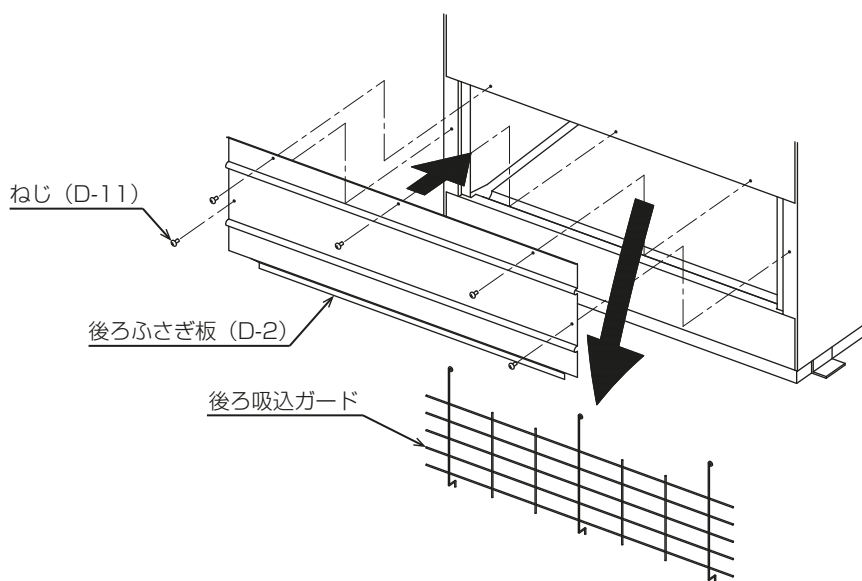
1. 前下パネル (D-1) の下部を本体台枠の上ののせ「3-1. パネルの取外し (8 ページ)」で外したストリングを取り付ける。(ストリング取付詳細図参照)
2. 化粧ねじ (D-12) で前下パネル (D-1) の上部をパネル取付板にねじ止めする。(ねじ 2 本)



3-8. 後ろふさぎ板の取付け

手順

1. 本体背面の吸込口に取り付けられている後ろ吸込ガードを取り外す。(ねじ 3 本)
2. 後ろふさぎ板 (D-2) をねじ (D-11) で取り付ける。
(PAC-CH23, 24, 33, 34UTB ねじ 4 本、PAC-CH25, 26, 35, 36UTB ねじ 5 本)



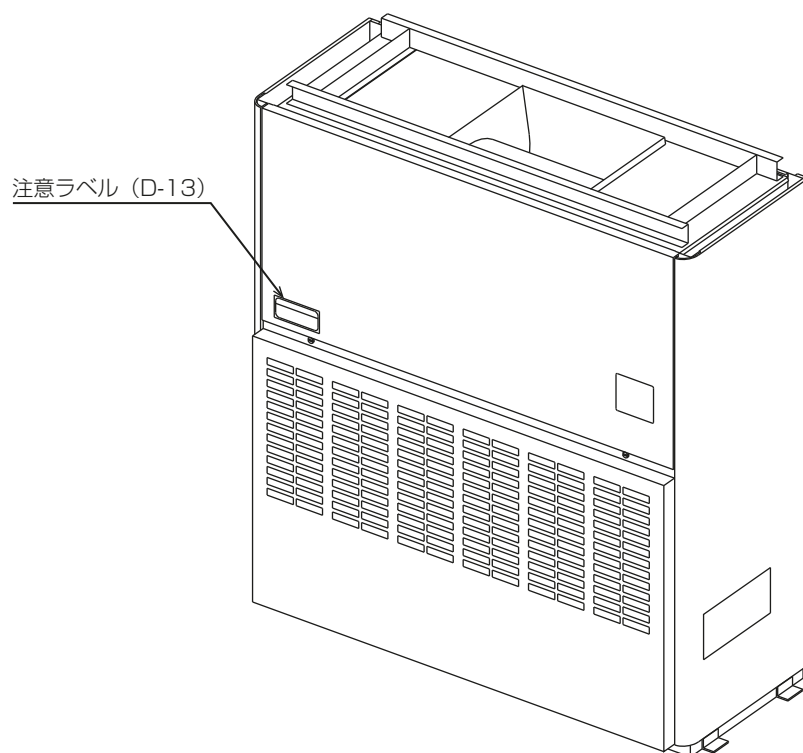
お願い

- ・ 取り外した吸込パネル、後ろ吸込ガードは使用しません。お客様と相談のうえ、処理してください。

3-9. 注意ラベルの貼付け

手順

1. 注意ラベル (D-13) を前上パネルの
図示の位置 (ツマミねじ上部) に貼
り付ける。



4. 取付作業後の確認

取付作業が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)

4-1. 取付作業のチェックリスト

| 点検項目 | 点検内容 | 点検結果 |
|--------|----------------------|------|
| 設置・取付け | 部品の取付け忘れはありませんか | |
| | ねじに緩み、締め忘れはありませんか | |
| | 予備の3本以上にねじが残っていませんか | |
| | 梱包材の取外し忘れはありませんか | |
| 電気回路 | 配線が配管や部品端部に接触していませんか | |

5. お客様への説明

5-1. 一般事項

警告

火気を近づけないこと。

- ◆ 引火・火災・爆発のおそれあり。



火気禁止

注意

作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

フィルターを取り外す場合、保護具を身に付けること。

- ◆ ほこりが目に入り、けがのおそれあり。

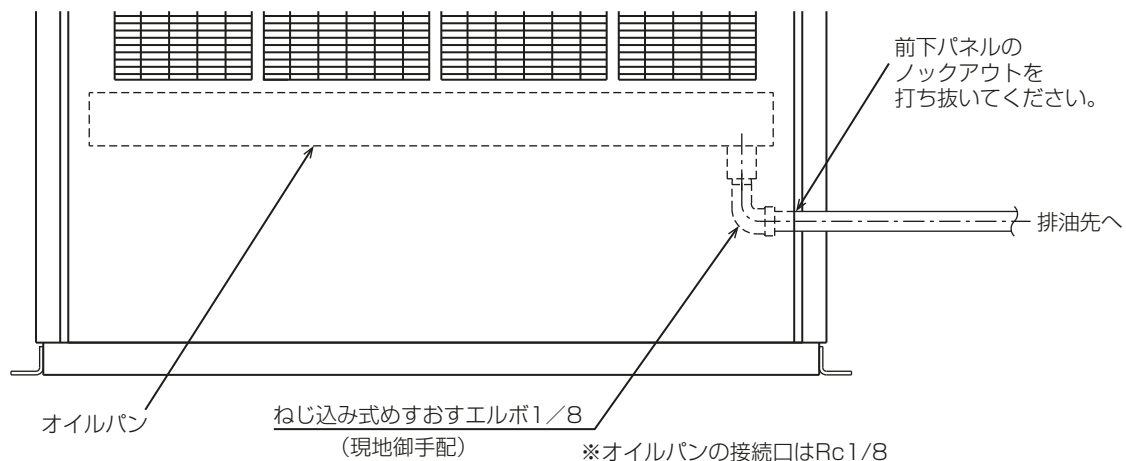


指示を
実行

- この取付説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様・ゼネコン関係者様や建物の管理人様にご説明ください。
- この取付説明書は、取付け後お客様にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合は、この取付説明書を新しくお使いになる方にお渡しください。

5-2. お願い事項

- 1) 空調機からのドレン排水には少量の油分があるため、下水処理のある下水に流すか、油分を処理してから排水してください。
- 2) 油環境下では本体取付けのリモコンを使用することはできません。
リモコンを本体から取り外し、油分を含まない環境下に設置する必要があります。
- 3) 油の種類によっては、加水分解により有機酸（ギ酸・酢酸など）を発生する油があります。
その場合、銅管腐食の原因となりますので使用しないでください。
- 4) 本ユニットには電気ヒータ、ベーパーパン加湿器、滴下式加湿器、中・高性能フィルタ、後吸込ダクトフランジ、外気取入れフランジの組込みはできません。
- 5) 周囲空気中の油ミスト濃度は、 $0.5\text{mg}/\text{m}^3$ 以下で使用してください。
- 6) 使い捨て型オイルフィルタの交換周期は、1週間～2か月を目安としてください。
再生型オイルフィルタの清掃周期は、1回/週を目安としてください。
使用環境、油の濃度・粘度、じんあい量などによって異なりますので早い時期での確認をお願いします。
また、ユニット内部の標準フィルタも同時に清掃してください。
ドレンパン、ドレン管の清掃も合わせて実施しドレン排水性を確認してください。
再生型オイルフィルタを清掃する場合は、ぬるま湯もしくは中性洗剤を混ぜた水に浸け、汚れを落としてください。
- 7) ユニット内部は油環境下での使用により、通常より汚れが早くなり寿命が短くなることがあります。
熱交換器、ドレンパン、モータ、ファンなど、定期的にメンテナンスしてください。
油の付着により、Vベルトのスリップ現象が起こりやすくなりますので、プーリ・Vベルトの油除去も実施してください。
- 8) オイルパンにはオイル抜き管の接続が可能です。
市販のねじ込み式めすおすエルボ 1/8 (JIS B 2301 に準じたもの) を使用してください。
シール材でねじ部をシールしてください。
また、オイル抜き管を接続されない場合は、オイルパンに溜まったオイルがオーバーフローする前に捨ててください。
オイルは前面サービスパネルを開けるとともに、オイルパンを前面上方向に引き出してから捨ててください。
オイルパンがオーバーフローすると、オイルがユニット前面外部へ流出します。
オイルの量は前面サービスパネルを開けることで確認できます。



- 9) オイルフィルタを組み込むことにより、機内抵抗が増加します。
技術資料を参照し静風圧部品を選定してください。
※ 風量は下記の範囲で使用してください。

| | |
|-----------------|---------------------------------|
| PAC-CH25, 35UTB | 110～140 m^3/min |
| PAC-CH26, 36UTB | 150～180 m^3/min |

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2019年11月作成

WT09497X02